

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2026年 2月 12日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	日本海工株式会社
所在地	〒650-0032 神戸市中央区伊藤町 119
代表者役職・氏名	代表取締役社長 山下聖一郎
担当者連絡先	事業本部 担当部長 宮本一之 電話：078-391-1791
	メール：k_miyamoto@nipponkaiko.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.nipponkaiko.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>サルバージュ会社として創業（大正15年）した弊社は、本年2026年、100周年を迎えました。国内インフラ投資は新規投資から老朽化対策への移行期を迎え、市場環境は大きく変化しましたが、「国土・国家の発展に貢献する」という創業の精神は現在も弊社のDNAとして息づいております。</p> <p>これまで弊社は、社会資本整備である海上・陸上土木事業や地域社会との交流において、社会の発展に貢献してきましたが、これらの活動はSDGsと深い関わりを有しています。</p> <p>私たちは、私たちの事業活動がSDGsに繋がっていることを意識しながら業務に取り組み、持続可能な地域社会の発展と弊社の持続可能な成長を目指し、この活動を推進します。</p>

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	<ul style="list-style-type: none">陸上重機新規更新によるCO2排出削減作業船停泊中における陸電使用事務所の電力使用量削減 設定温度（夏28℃ 冬20℃） 昼休時間中の消灯、空室及び間引き消灯等	<ul style="list-style-type: none">バイオ燃料の検討及び燃焼促進剤の使用陸上重機燃費（2021年度より2%向上）電力使用量（2021年度より1.5%削減）カーボンクレジット購入（1件以上）ブルーカーボン事業技術提案（1件以上）
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	<ul style="list-style-type: none">労働基準法順守による「働き方改革」の推進建設業法の法令順守 下請保護、工期設定の適正化等	<ul style="list-style-type: none">残業時間に対する法令順守（達成率100%）協力会社への現金100%支払いを継続
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	<ul style="list-style-type: none">地域貢献活動への積極的に参加社会的貢献と社員の啓蒙の促進。	<ul style="list-style-type: none">クリーン作戦や本社周辺での定期清掃活動環境関連イベントや地域行事等への参画 （年5回以上）

(次項へ続く)

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる										11.6	12.4 12.5		14	15			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3				13					
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3			12.4	13.3	14	15			
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3			11.6	12.4	13	14	15			
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6						14	15			
16		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6										
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7			12	13	14	15			
18		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12	13	14	15			
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2				13					
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15			
21	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9							12.4						
22		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している									9								
23		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる								6			12	13	14	15			
24		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる																	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

